

事例名			
映像制作			
校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	情報科・情報デザイン		
学校名〈任意〉	—	事例報告者氏名〈任意〉	—
機能名（アプリ名）	・動画編集ソフト(AviUtl)		
ICT 活用のポイント			
BYOD 端末の iPad で動画を撮影し、情報処理実習室のコンピュータに導入したフリーソフトで編集する実習を行った。興味を持った生徒が家庭でも取り組めるよう、高価なソフトや機材は使用しないこととした。			
活用場面			
<p>テーマ：「2カット以上の動画を撮影し、編集して自然な1シーンを作ろう」</p> <p>① グループでどんな動画を作るかを相談する。</p> <p>② 動画の撮影、編集を行う。</p> <p>※この編集でコンピュータを使用する</p> <p>③ 上手くつながらなければ、再度撮影を行い、自然につながるまで調整を繰り返す。</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>AviUtl はフリーソフトではあるが高機能。直感的に使えるので、少しのレクチャーで生徒はすぐに使いこなせるようになった。また、インストール不要で使用できるので、どの教員でも簡単に導入できる。</p> <p>この事例は情報科での活用だが、すべての教科における「表現」の活動で、動画による表現を選択肢の一つとすることができると感じた。</p>			